

## 平成 20 年 年頭ご挨拶

皆様におかれましては、健やかな新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年は皆様のご支援のおかげで、二期目をスタートすることができました。大変感謝いたしております。

本年は、原油が 1 バレル 100 ドルを超えるなど多難な景気経済の中で始まりました。様々な重要課題を抱える中で、未来に責任を持つ政治を実行して参ります。

更にお一人お一人の声をしっかり受け止め、生活者の視点で福岡市政に全力で取組んで参ります。これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

皆様のこの一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

福岡市議会議員 山口 剛司



## ☆平成 20 年度予算要望を実施☆

去る 11 月 28 日、公明党福岡市議団は、吉田市長に対し、平成 20 年度の予算編成に際して要望書を提出いたしました。

福岡市は来年度も厳しい予算編成を強いられると予想される中で、**山口議員**等は生活者の目線に立ち、福岡市の将来に対し選択と集中の施策を実施するよう要望いたしました。



その内容は、下記のとおりです。

### 【緊急要望】は

- ①高齢者・障害者更に低所得者に対する各種公共料金の減免制度の創設

②教育予算の確保と耐震化と施設の改善

③民間視点から事業仕分けの実施

④温暖化防止条例の制定と環境対策の実施  
の 4 項目です。

### 【重点要望】では

財政健全化や行政改革、医療福祉こども関係、住みよい街づくりや経済政策などについて大項目 13、小項目は 168 を要望しました。

また、東区に關係する要望では、九大移転後の街づくりや地下鉄の西鉄宮地嶽線へ乗り入れるなど 14 項目の要望をいたしています。

これら公明党福岡市議団の要望事項に対する予算への反映は 2 月中旬より 3 月末にかけて開催される予算議会の中で勝ち取れるよう議論してまいります。



## ☆平成 20 年の政府予算に公明党の要望が反映☆

### ○地域の再生・活性化に「地域力再生機構」の創設が決定

事業利益が出ているのに巨額の負債を抱え経営が圧迫されている中小企業や第三セクターなどの再生支援を行います。

### ○原油高対策に 07 年補正と 08 年予算に計上

運送業の高速道路料金の値下げ、農林漁業や建設業など業種に応じた負担軽減策も予算に計上されました。また養護老人ホームなどの社会福祉施設の暖房費の値上がり分も助成の対象となります。

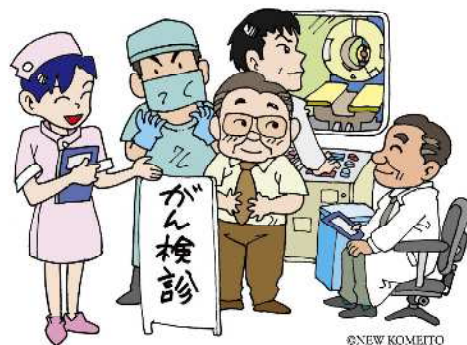


### ○教員の増加やいじめ虐待に専門家が対応

教員定数を 1,000 人増加。また退職教員など外部人材を 7,000 人配置。専門家対応の「スクールソーシャルワーカー活用事業」をスタートさせます。

### ○母子扶養手当削減を凍結。奨学金は金額と貸与者を増加。入学時貸与者は 6 万人です。

### ○医師確保対策と安心な救急医療体制の拡充



特に小児科・産科の医師を増やし、医療補助者・助産師など過重労働を緩和します。

がん対策が大幅拡充。B・C型肝炎患者でインターフェロン治療費も助成されます。ドクターヘリも導入促進されます。

また高齢者医療費の負担増の 1 年間据え置きや半年間の軽減措置など実施します。

### ○中小企業の継承相続税が大幅に軽減

新制度では 5 年以上の事業継続と 8 割の雇用確保を条件に課税価格の 80% の納税を猶予します。また経営への金融支援やアドバイスも行います。

## ☆1 月より街頭演説を開始しました



1 月 7 日 J R 箱崎駅西口にて

市民の皆様へ公明党の実績や政策の方向を街頭でアピールしています。

今の国会は参議院が与野党勢力の逆転のため「ねじれ国会」となっています。国民生活の混乱回避のためには、与野党が議論を尽くし予算案と関連法案を年度内に成立させることが重要です。

福岡市でも重要な課題が目白押しです。今後も生活重視の政治を実現してまいります。「公明新聞」や「公明ほっとライン九州」に政策等を掲載していますのでご覧ください。

政策等について皆様のご意見がありましたらどうぞお聞かせ下さい！